

2026年3月期 通期  
[2025年4月～2026年3月]

## 決算説明会

2026年5月13日(水)



# INDEX

## **第一部：2026年3月期 決算概要**

取締役 執行役員 CFO 糸雅 誠一

## **第二部：2027年3月期 業績予想**

代表取締役 社長執行役員 CEO 二ノ宮 照雄

# 第一部：2026年3月期 決算概要

---

## 売上収益

- 半導体市場はAI・データセンター関連製品の需要が強く、微細化も進展
- 外販フォトマスク市場の成長：
  - 内作プレイヤーのリソースは最先端ノードに集中しており、先端ノードを外販化する傾向が継続
  - 半導体市場の需要に支えられ、ファウンドリ向けは前年同期と比較して先端品・基幹品ともに堅調に推移

## 売上収益成長率

- 2026年3月期通期の売上高は、前年同期比円ベースで9.8%増加
- USドルベースでは10.9% (参考値) 増加

## 営業利益率

- 2026年3月期通期の営業利益率は21.2% (前年同期比2.7ポイント減少)
- 前年からの主な変動要因は材料費の上昇、先行投資に伴う減価償却費増加に加え、上場に伴う一過性費用の増加

## EBITDAマージン

- 2026年3月期通期のEBITDAマージン※1は35.9% (前年同期比1.3ポイント減少)
- 調整後EBITDAマージン※2は36.6% (参考値)

## 設備投資

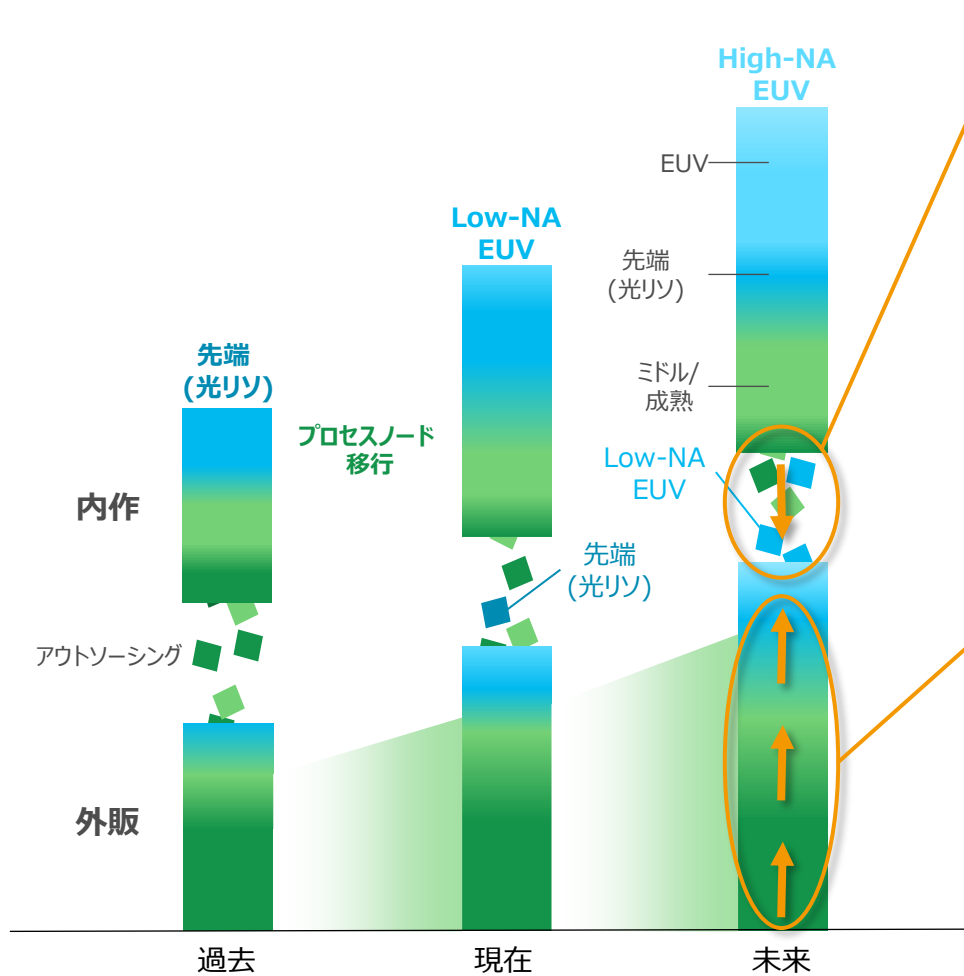
- 成長ドライバーである先端ノード向け投資に注力
- シンガポールに製造拠点を新設
- 韓国工場における生産拡張投資を決定

注：

※1 EBITDA=親会社株主に帰属する当期利益+法人所得税費用-金融収益+金融費用+減価償却費及び償却費。 EBITDAマージンはEBITDA÷売上高で算出

※2 調整後EBITDA=当期(四半期)利益+法人所得税費用+減価償却費及び償却費+減損損失+スタンドアローン・上場準備費用+株式報酬費用+資本再編の検討に要した費用。

- 2026年3月期後半より、AIブームによるメモリメーカーの内作リソース逼迫でアウトソーシングが増加傾向



## 新規需要 – 内作ベンダーからのアウトソーシングの加速

### EUVアウトソーシングの機会

- 従来型のLow-NA<sup>\*</sup> EUVは、EUVの採用加速とHigh-NAへの移行によりアウトソーシングが進む見込み

### 先端ノードおよび成熟ノードにおけるアウトソーシングの加速

- 最先端ノードへの集中や設備投資の必要性から、先端ノードのアウトソーシングが増加
- 生産能力の制限により成熟ノードのアウトソーシングが加速

## 既存需要 – 外販フォトマスクを活用するチップベンダーからの需要拡大

### 既存顧客からの構造的な需要拡大

- 半導体市場の拡大
- 半導体工場 / 生産ラインの拡張
- チップ設計数の増加 / 多様化
- 微細化によるマスクシート / レイヤー数の増加とASPの上昇

**Low-NA EUV** : 現在5~2nmの半導体を製造するために使用されているEUVのプロセス  
**High-NA EUV** : 次世代の1nm台以下の半導体向けに開発中のEUVプロセス

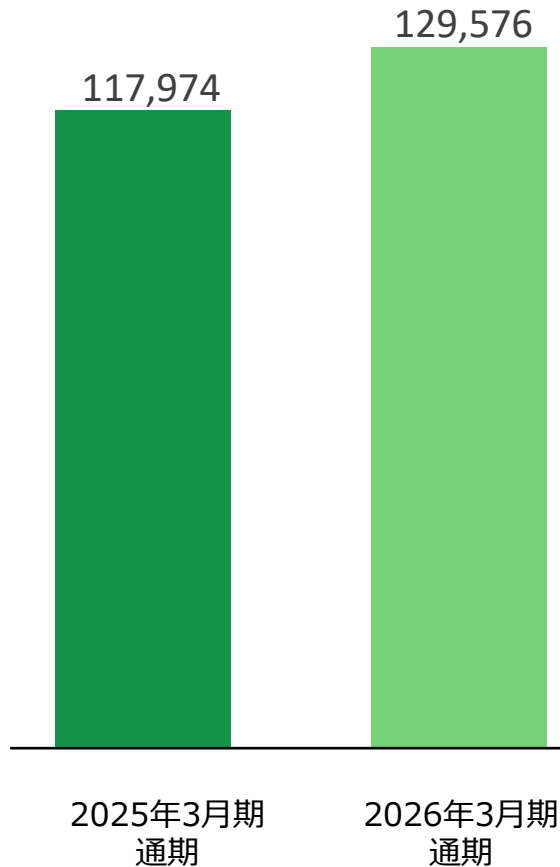
注：  
<sup>\*</sup> NA=Numerical Aperture、開口数

# 2026年3月期 通期業績サマリー

- 2026年3月期通期売上高は前年対比9.8%の増加
- 一方で、営業利益率 / 調整後EBITDAマージンは材料費、減価償却費、及び上場関連費用の増加により前年対比で減少

## 売上収益

(単位：百万円※)

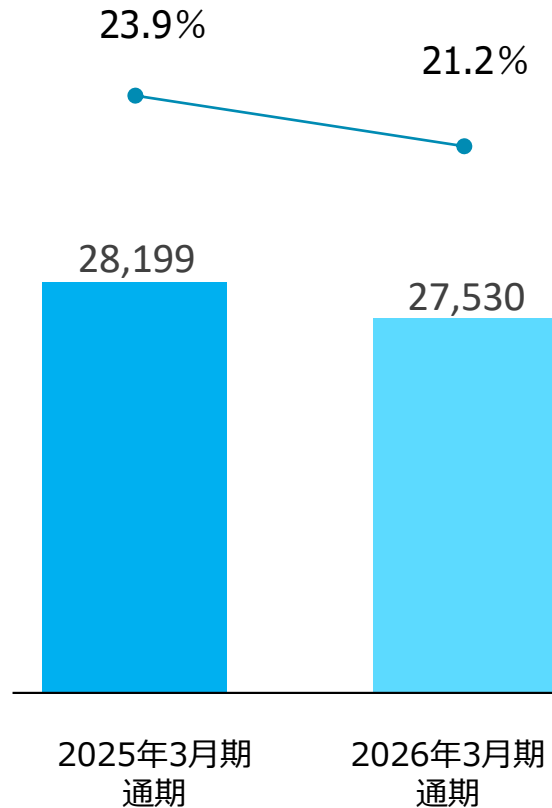


成長率：9.8%

## 営業利益

(単位：百万円)

● 営業利益率

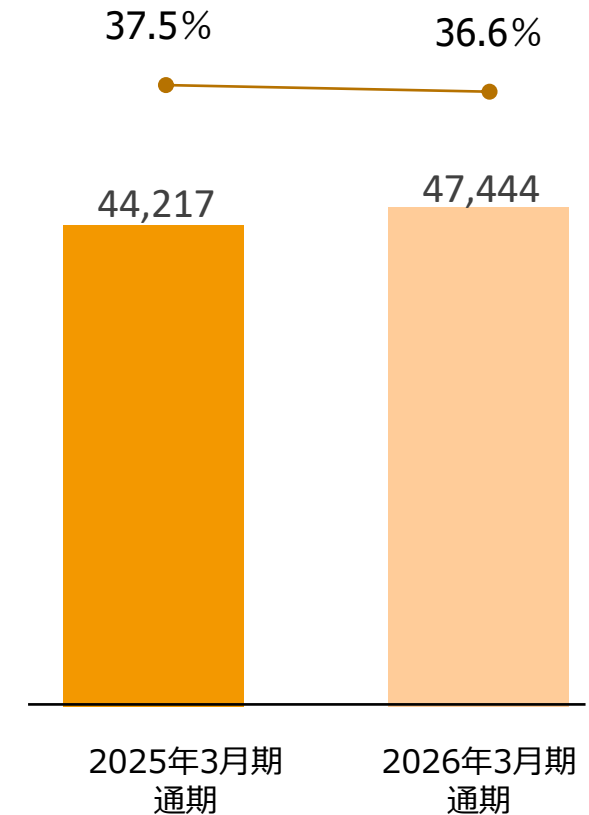


成長率：▲2.4%

## 調整後EBITDA

(単位：百万円)

● 調整後EBITDAマージン



成長率：7.3%

# 連結業績状況 - 2026年3月期通期PL

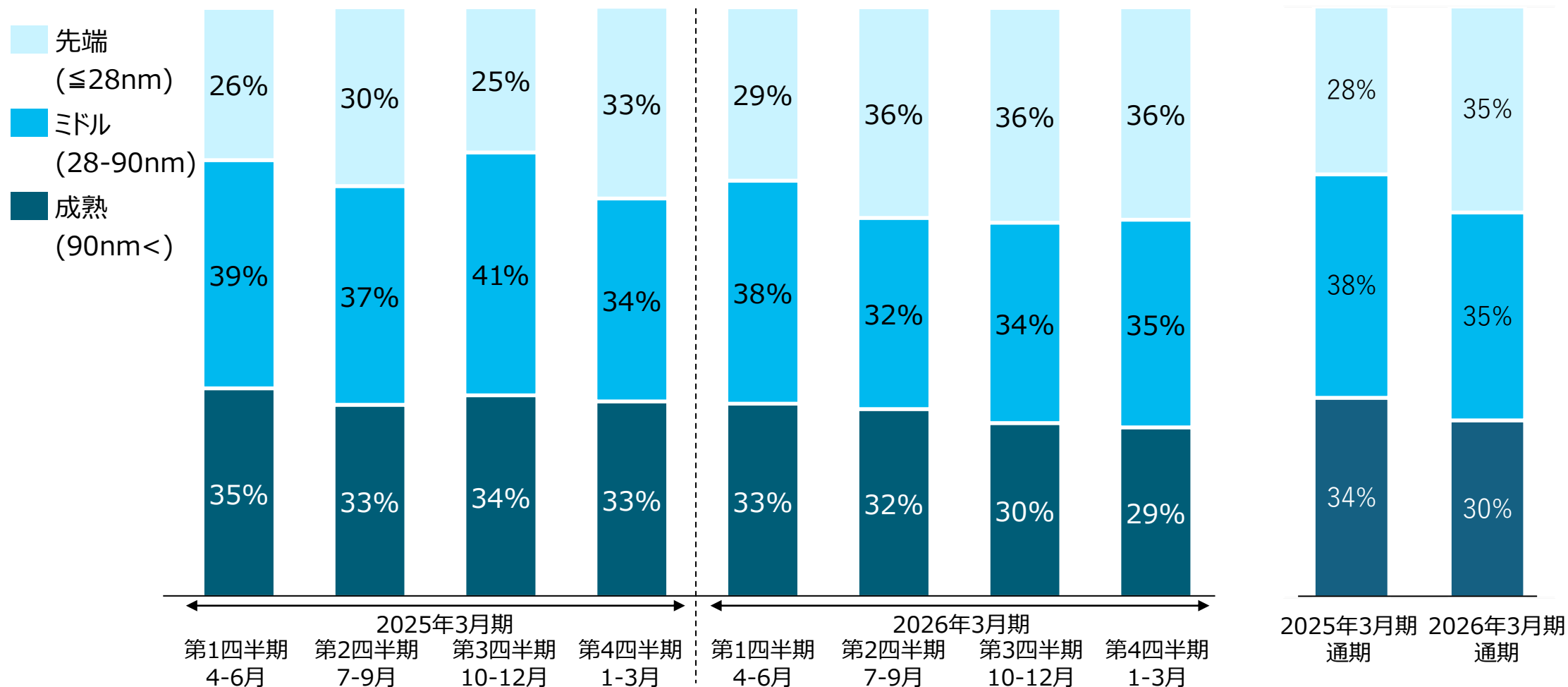
- 売上収益 : 堅調なフォトマスク需要を背景に、グローバル各拠点で売上を拡大し前年対比で増収
- 営業利益 : 材料費及び減価償却費の増加に加え、上場に伴う一過性費用の増加により前年対比で減益
- 当期利益 : 金融収益の増加（通貨スワップの評価益増）により前年対比で増益

	2026年3月期					増減率		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計	前四半期比 26/3 Q4 vs 26/3 Q3	前年同期比 26/3 Q4 vs 25/3 Q4	前年対比 26/3 Q1-Q4 vs 25/3 Q1-Q4
日本円 (百万円)								
売上収益	30,076	31,695	34,462	33,341	129,576	▲3.3%	16.4%	9.8%
売上総利益率	32.6%	35.0%	31.2%	34.8%	33.4%	3.7pt	1.8Pt	▲1.5pt
営業利益	5,875	7,020	7,028	7,605	27,530	8.2%	21.6%	▲2.4%
営業利益率	19.5%	22.2%	20.4%	22.8%	21.2%	2.4pt	1.0pt	▲2.7pt
当期利益 (四半期利益)	5,475	6,874	6,652	5,944	24,947	▲10.7%	—	150.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (四半期利益)	5,475	6,874	6,652	5,944	24,947	▲10.7%	—	150.9%
EBITDAマージン	33.8%	37.3%	36.5%	36.0%	35.9%	▲0.5pt	▲0.8pt	▲1.3pt
調整後EBITDAマージン	34.2%	37.9%	36.7%	37.5%	36.6%	0.8pt	0.4pt	▲0.9pt
為替レート (USD/JPY)	143.75円	148.34円	155.46円	156.51円	151.09円			
参考値 : USD (千)								
売上収益	209,224	213,665	221,680	213,037	857,610	▲3.9%	12.4%	10.9%
営業利益	40,875	47,415	45,167	48,756	182,215	7.9%	17.7%	▲1.4%

# 売上構成 - プロセスノード別

- 先端ロジックを中心とした需要の拡大を背景に、先端ノード向けの売上構成比が上昇傾向

売上構成（プロセスノード別）※

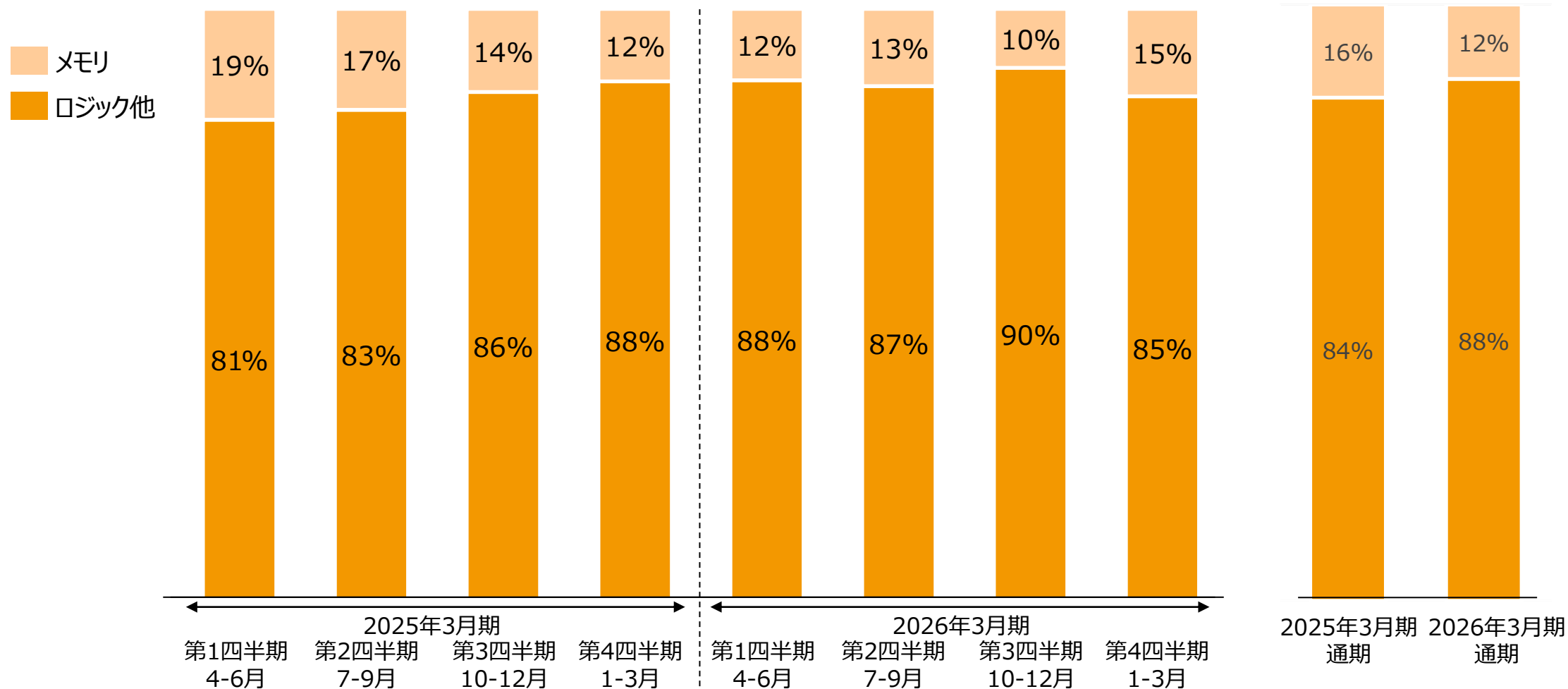


※ フォトマスク製品に関する売上のみで集計

# 売上構成 - アプリケーション別

- メモリ分野は最終需要の動向の影響を受けやすく、四半期ごとの当社売上高における構成比は変動
- 2026年3月期第3四半期にはメモリ構成比は低下したが、第4四半期には需要の増加に伴い上昇

売上構成（アプリケーション別）※

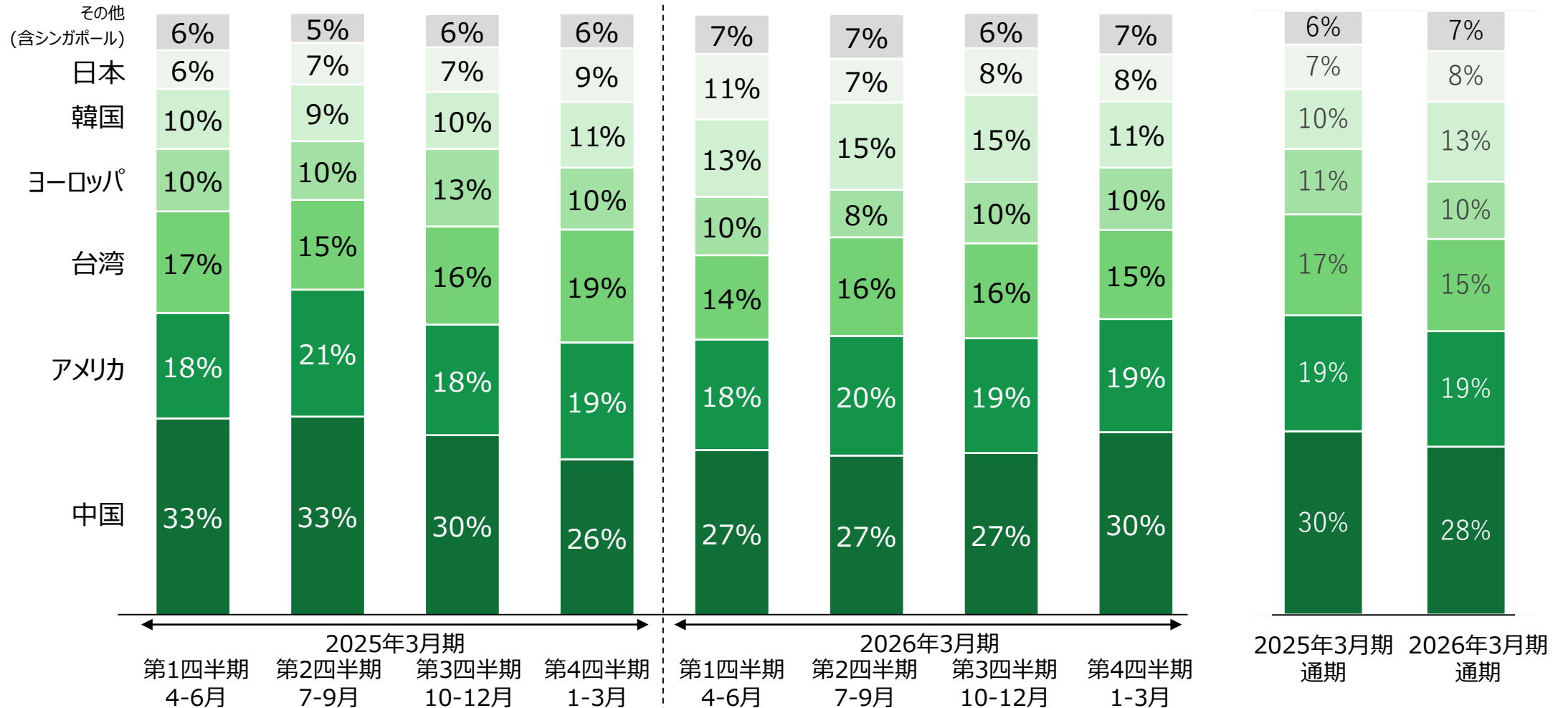


※ フォトマスク製品に関する売上のみで集計

# 売上構成 - 地域別（仕向け地）

- 中国向けは直近でメモリ需要の高まりから構成比が上昇。その他地域においても堅調に推移しており、全体では特定地域に偏らない売上構成を維持

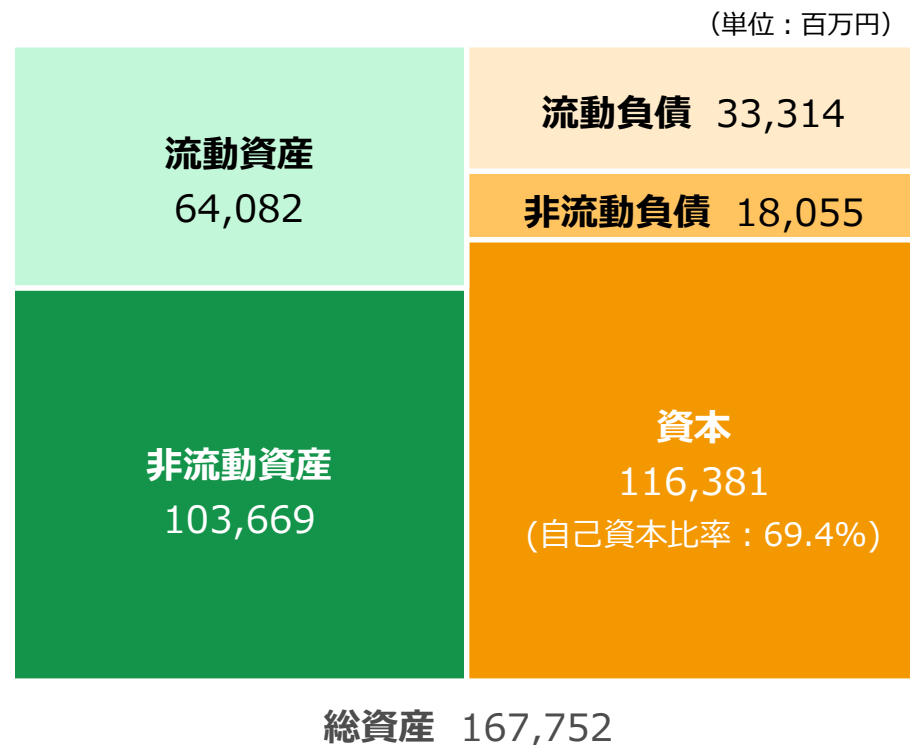
売上構成（地域別）※



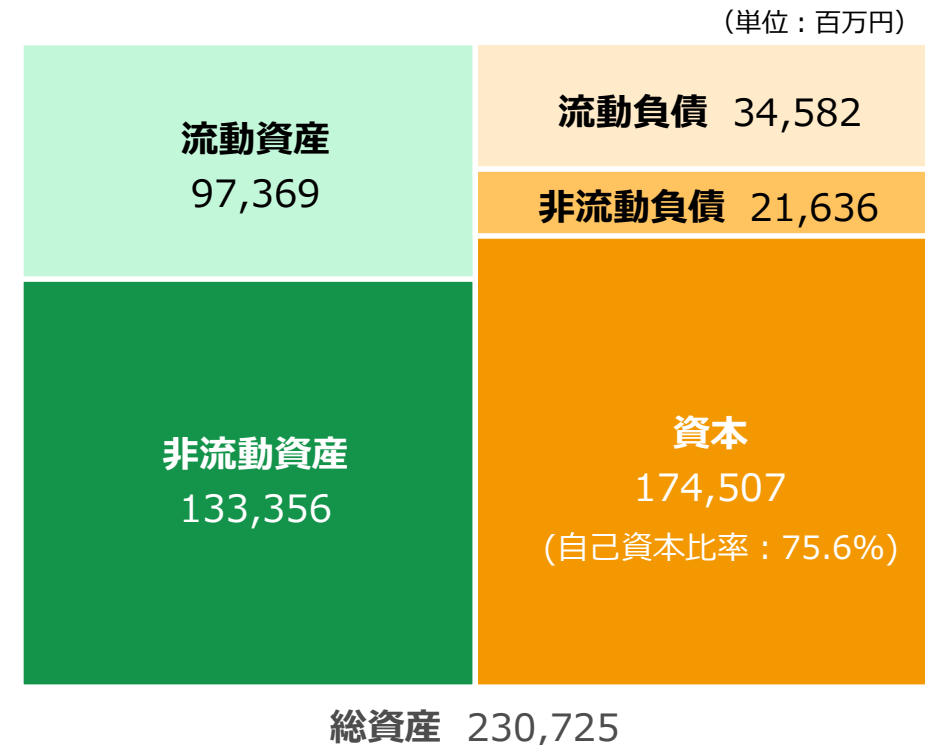
※ドルベースで算出

- 2026年3月末における総資産は、現金及び現金同等物、有形固定資産、その他の金融資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ62,973百万円増加
- 負債は、契約負債が減少したものの、借入金、その他の金融負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ4,848百万円増加
- 資本は、上場に伴う増資19,992百万円を含め前連結会計年度末に比べ58,125百万円増加。自己資本比率は概ね70%台で安定推移

2025年3月末 資産・負債・資本



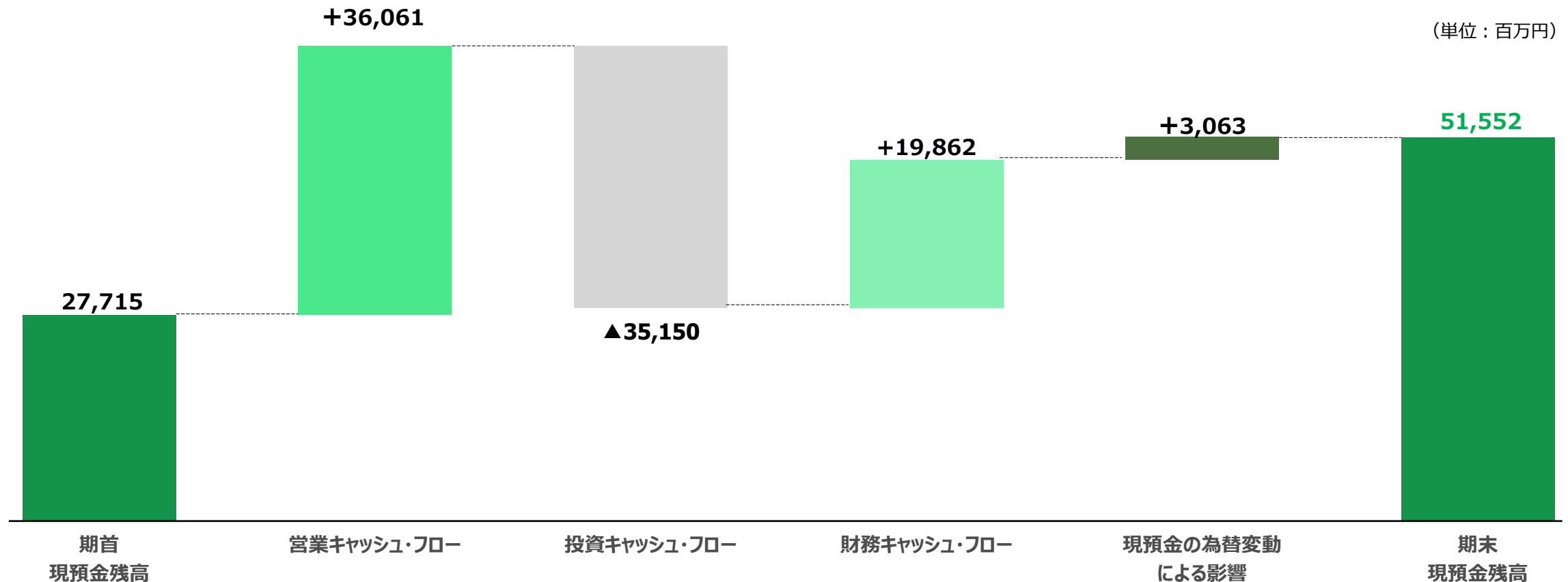
2026年3月末 資産・負債・資本



# 連結業績状況 - 2026年3月期通期CF

- 税引前利益33,432百万円、減価償却費18,486百万円等により、営業キャッシュ・フローは+36,061百万円
- 有形固定資産の取得33,207百万円等により、投資キャッシュ・フローは▲35,150百万円
- 株式発行による収入19,992百万円、リース負債の返済2,413百万円等により、財務キャッシュ・フローは+19,862百万円

## 2026年3月期通期 キャッシュ・フロー

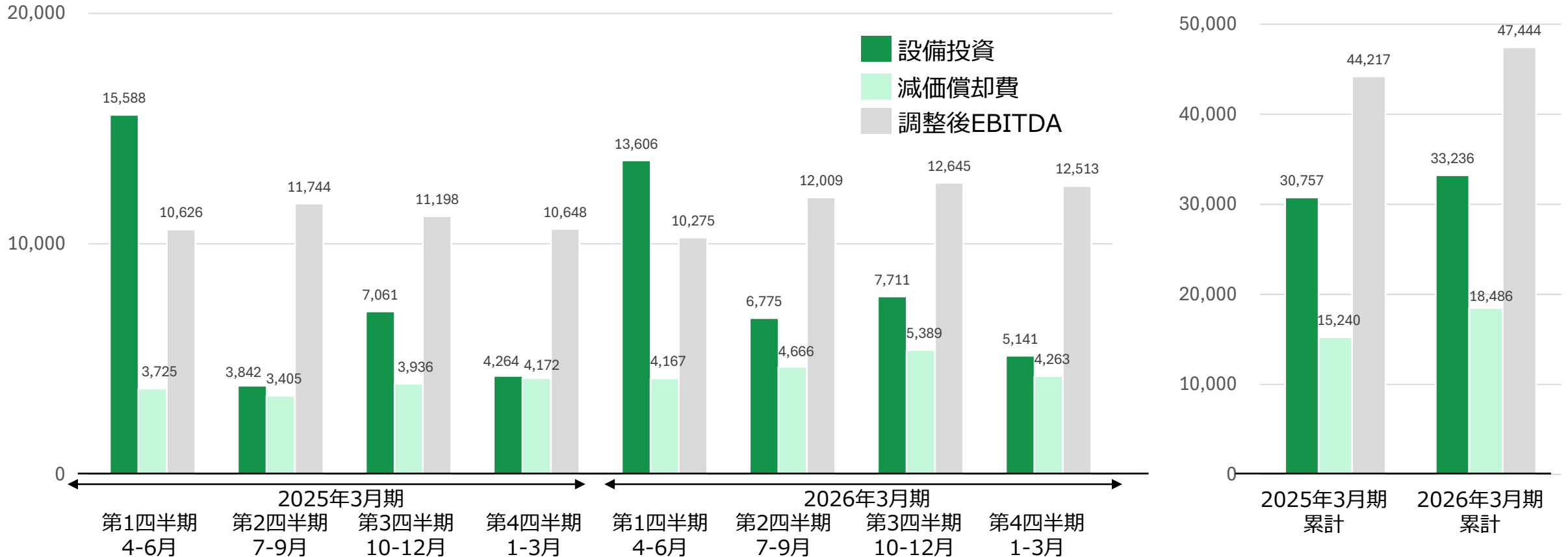


# 連結業績状況 – 設備投資 / 減価償却費 / 調整後EBITDA

- 設備投資：2026年3月期はシンガーポール新工場、US工場拡張のため投資金額が増加
- 減価償却費：2025年3月期-2026年3月期中に実施した設備投資に伴い増加
- 調整後EBITDA：先行投資局面においても、EBITDAは設備投資を継続的に上回り、安定した投資回収を実現

## 2025年3月期通期-2026年3月期通期

(単位：百万円)



# 連結業績予想に対する実績

- **売上収益/営業利益**：各地域の市場成長や先端比率の拡大により当初予想・直近予想ともに上回った
- **税引前利益/親会社の所有者に帰属する当期利益**：金融収益の増加により当初予想・直近予想を上回った

日本円 (百万円)	2026年3月期 通期 (当初予想)	2026年3月期 通期 (直近予想)	2026年3月期 通期 (実績)	当初予想 対比	直近予想 対比
売上収益	125,291	129,200	129,576	103.4%	100.3%
営業利益	25,500	26,600	27,530	108.0%	103.5%
売上高営業利益率	20.4%	20.6%	21.2%		
税引前利益	25,915	30,900	33,432	129.0%	108.2%
売上高税引前利益率	20.7%	23.9%	25.8%		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	18,878	23,300	24,947	132.2%	107.1%
売上高利益率	15.1%	18.0%	19.3%		
為替レート (USD/JPY)	140円 (想定)	150.68円 (想定)	151.09円	-	-

# Topics

---

## MOU / 韓国投資

- 韓国 利川市とMOUを締結、第3工場新設により韓国における供給体制を強化
  - 2026年3月、韓国 利川市と投資業務支援協約(MOU)を締結
  - 利川市の行政支援のもと、第3工場新設により韓国での先端フォトマスク供給体制を強化し、中・長期的な成長基盤の強化を図る

### 【スケジュール】

- 2026年3月17日：MOU締結
- 2027年            ：第3工場竣工予定
- 2028～2029年   ：先端フォトマスク量産開始予定

## Award / 資本市場評価

- DEALWATCH AWARDS 2025 Equity Issuer of the Yearを受賞
  - LSEG※主催の「DEALWATCH AWARDS 2025」において、株式部門の「Equity Issuer of the Year」を受賞

※ LSEG : ロンドン証券取引所グループ

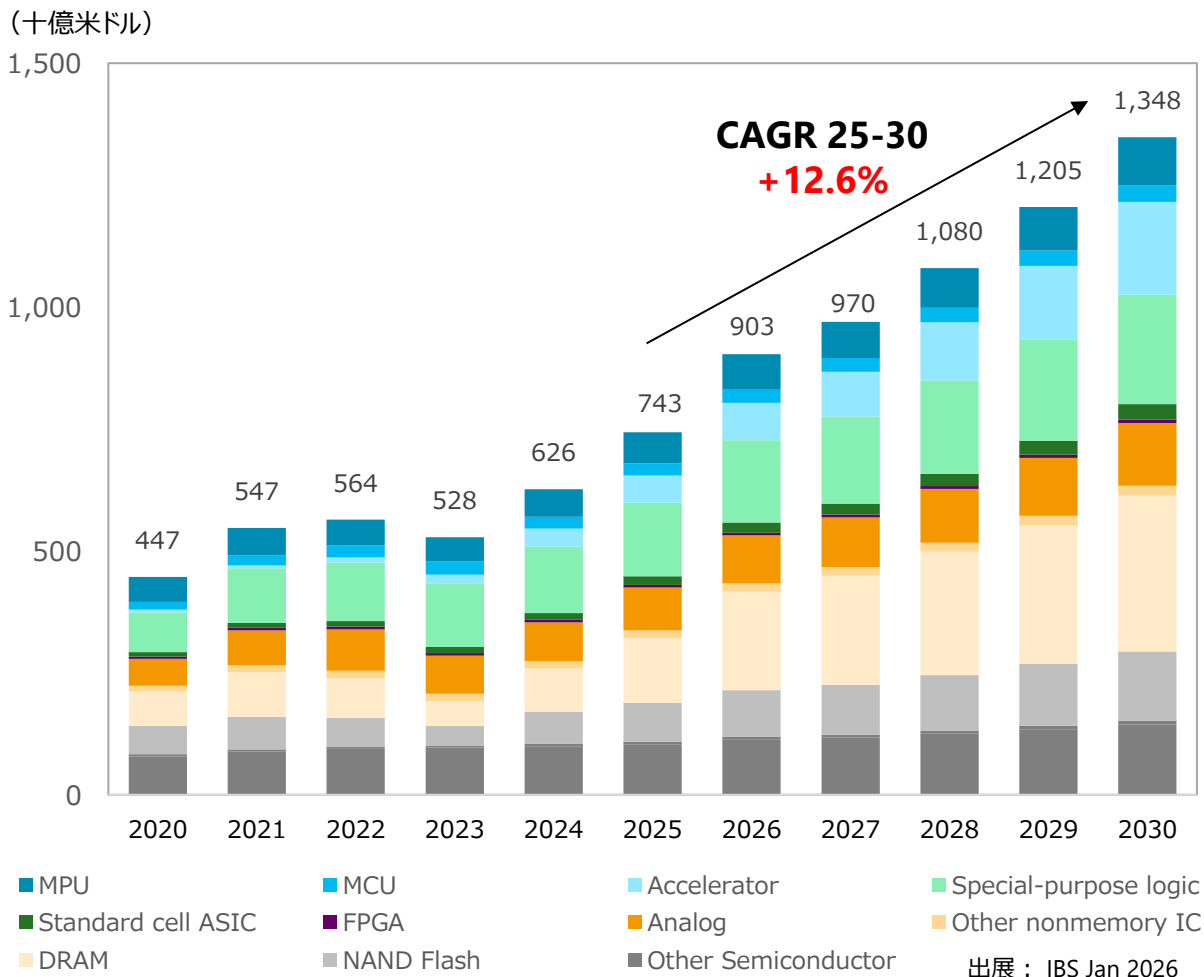


## 第二部：2027年3月期 業績予想

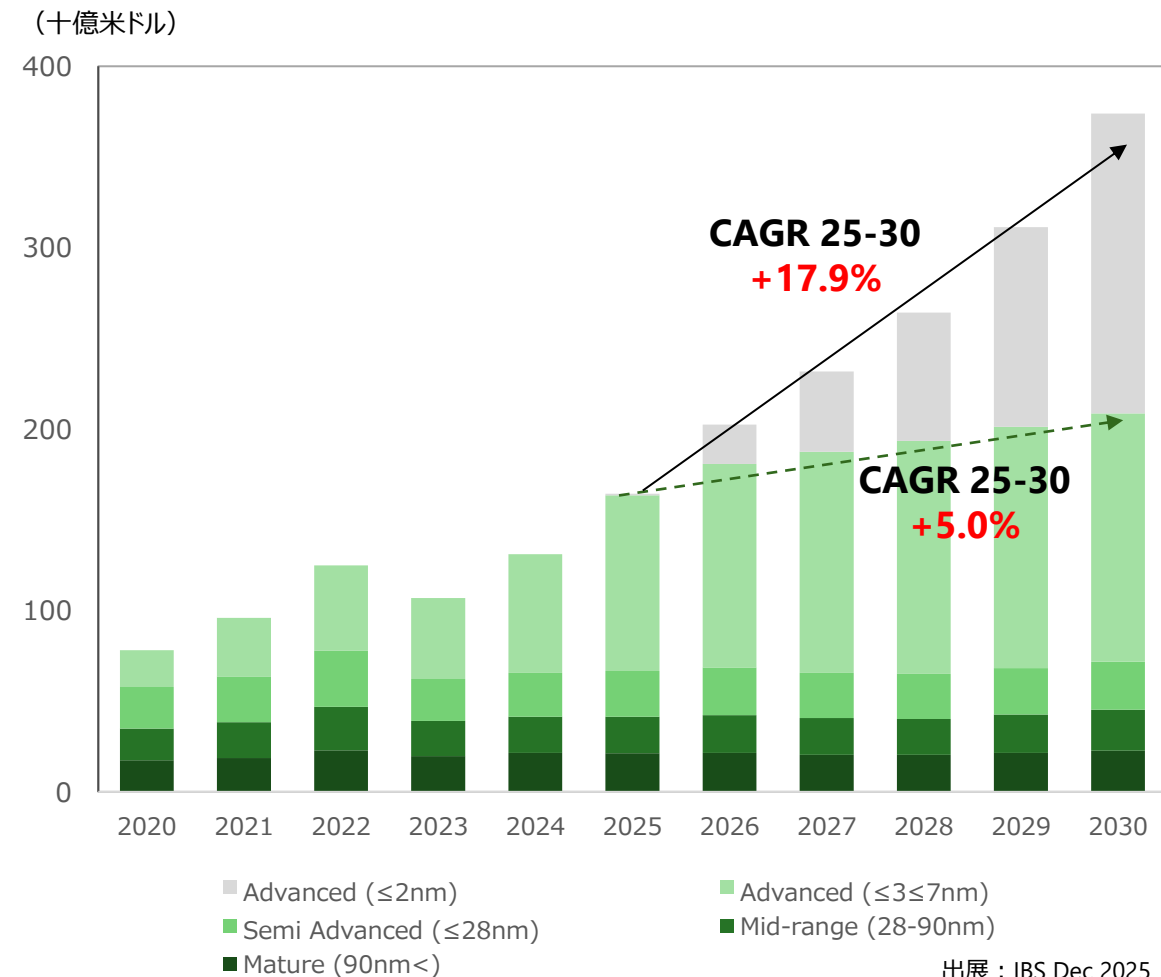
---

- 半導体市場は、AI・データセンター等の需要増加によりメモリが牽引役となり今後も成長が加速
- テクノロジーノード別では、特に2nm以細の最先端領域での市場が拡大する見通し

## 製品別半導体市場予測

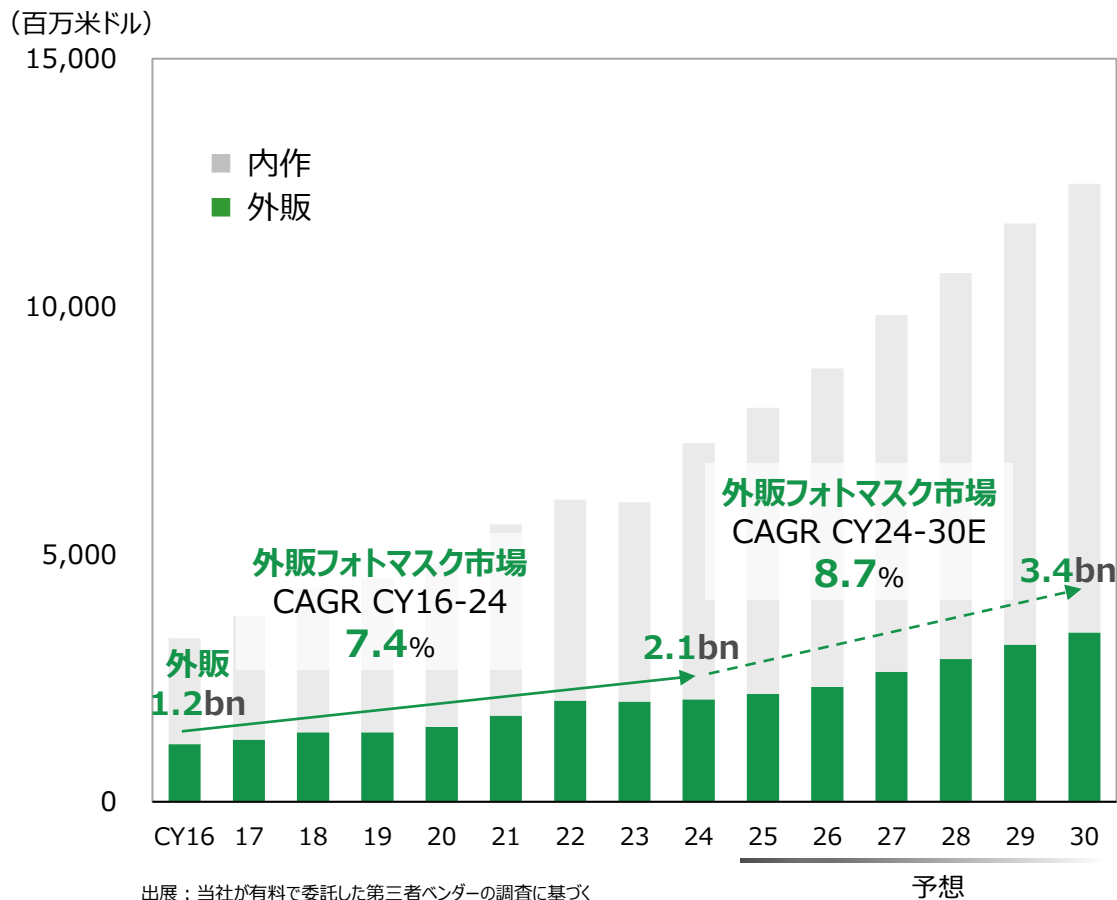


## テクノロジーノード別ファンダリ市場予測

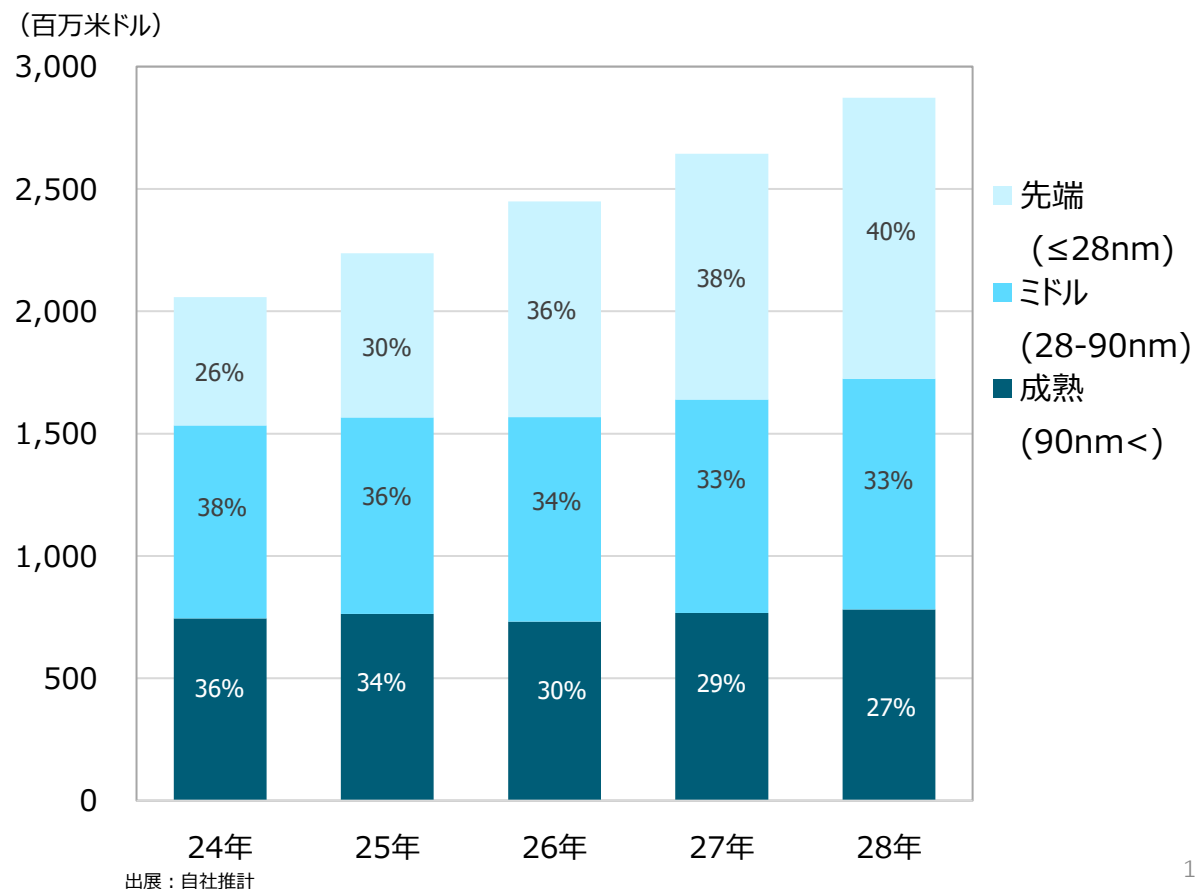


- ファウンドリ市場の成長に伴いフォトマスク需要も増加することで、外注需要も大幅に増加。これに伴い外販フォトマスク市場も CAGR 8.7%の成長が期待される
- 外販フォトマスク市場をノード別にみると先端向け中心に成長する見込み

## フォトマスク市場の推移



## テクノロジーノード別外販フォトマスク市場の推移



日本円 (百万円)	2027年3月期 通期予想	前年対比
売上収益	140,100	108.1%
<b>USDベース 売上収益成長率</b>	<b>12.6%</b>	+1.7pt
営業利益	29,800	108.2%
<b>営業利益率</b>	<b>21.3%</b>	+0.2pt
税引前利益	31,200	93.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	23,700	95.0%
<b>EBITDAマージン</b>	<b>34.2%</b>	▲1.7pt
一株当たりの配当	70.00円	+14.00円
想定為替レート (USD)	145.00円	▲6.09円

### 市場トレンド

外販フォトマスク市場の拡大  
設計点数の増加に伴う必要マスク数の増加  
先端比率上昇によるマージンの拡大

### コスト管理

先端品生産キャパシティ拡大  
レガシー設備延命及び更新投資の抑制  
適切な費用管理による販管費率の低減  
自動化・AI活用による人財配置の効率化  
ERP更新による経費の増加

### その他収益

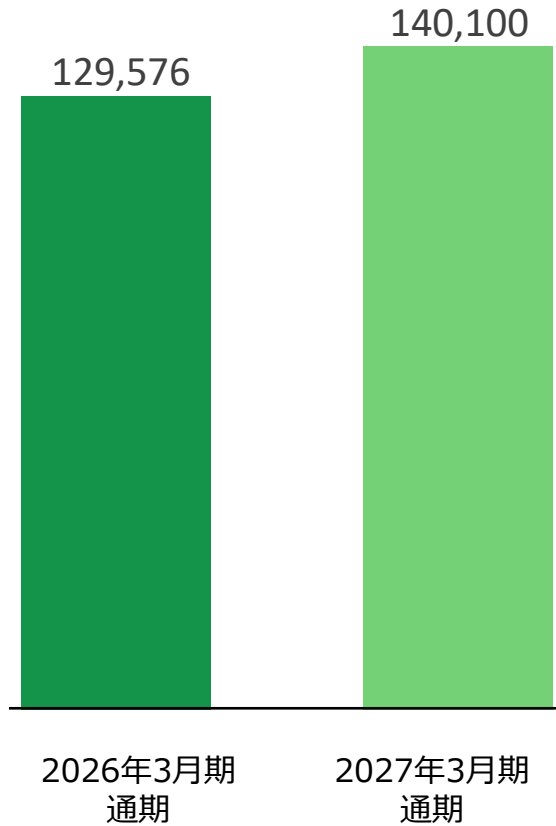
金融収益 (通貨スワップ評価益) の減

# 2027年3月期 業績予想

- 2027年3月期通期売上収益は前年対比8.1%（USドルベース：12.6%）で増加
- 営業利益 / EBITDAは前年対比で絶対値増加するも、投資効果は顕在化の途上にありマージンの改善は限定的

## 売上収益

(単位：百万円)

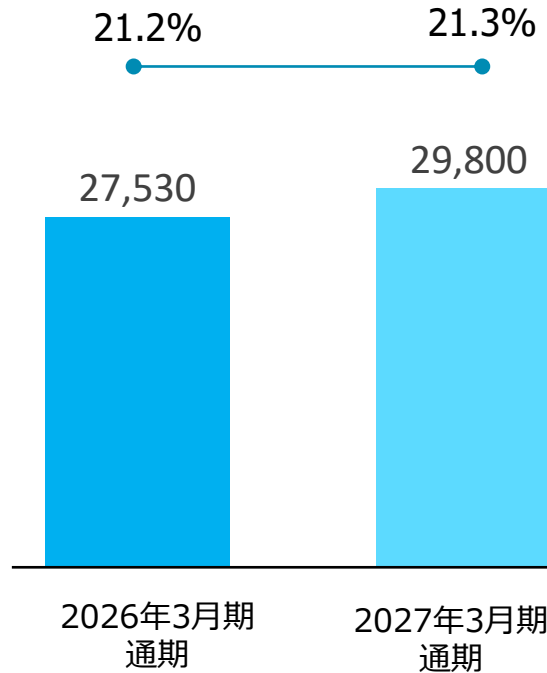


成長率：8.1%

## 営業利益

● 営業利益率

(単位：百万円)

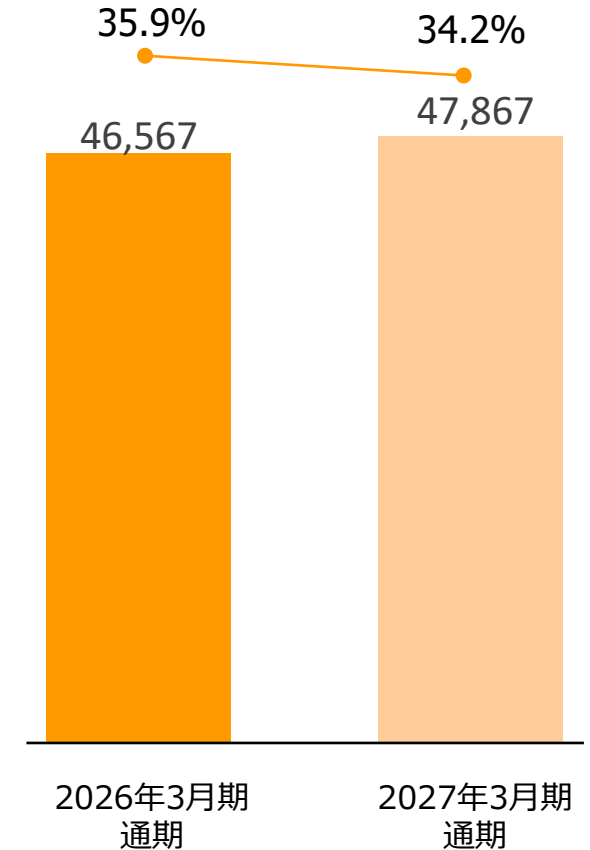


成長率：8.2%

## EBITDA

● EBITDAマージン

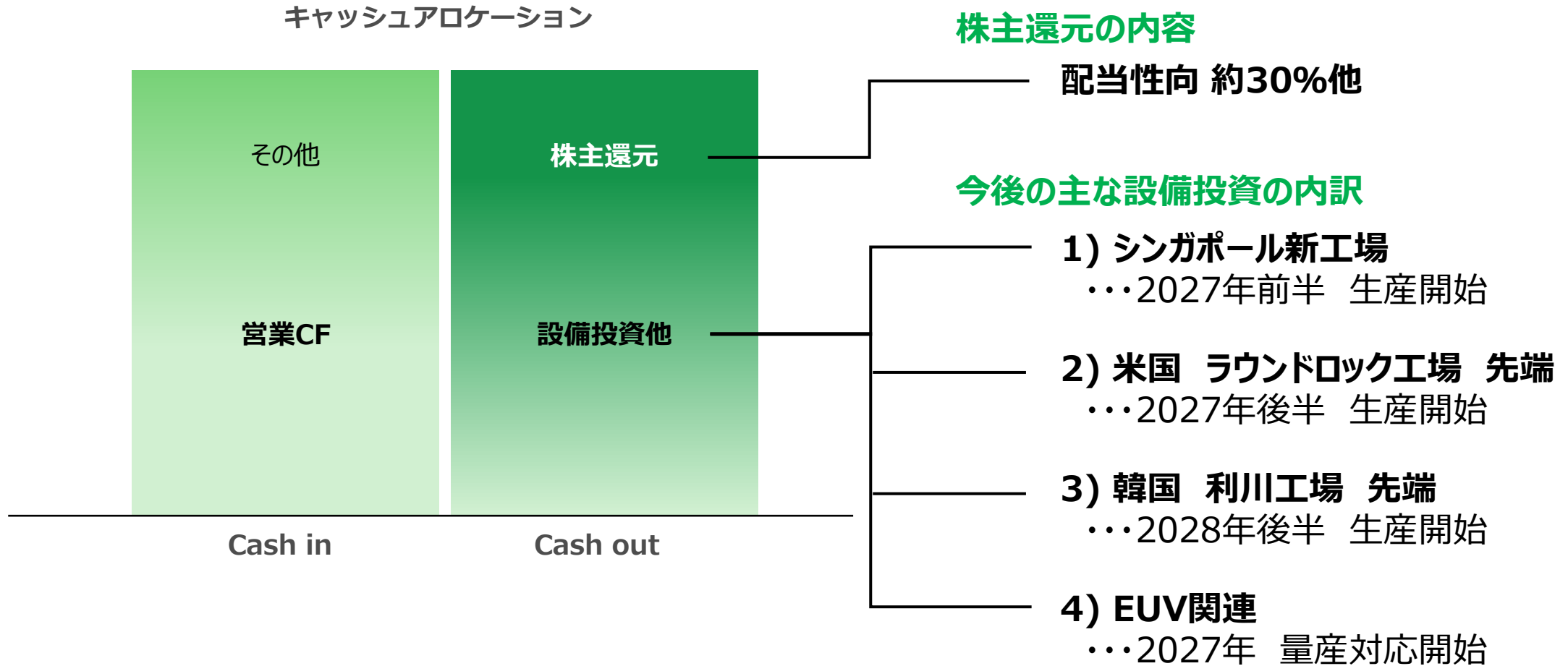
(単位：百万円)



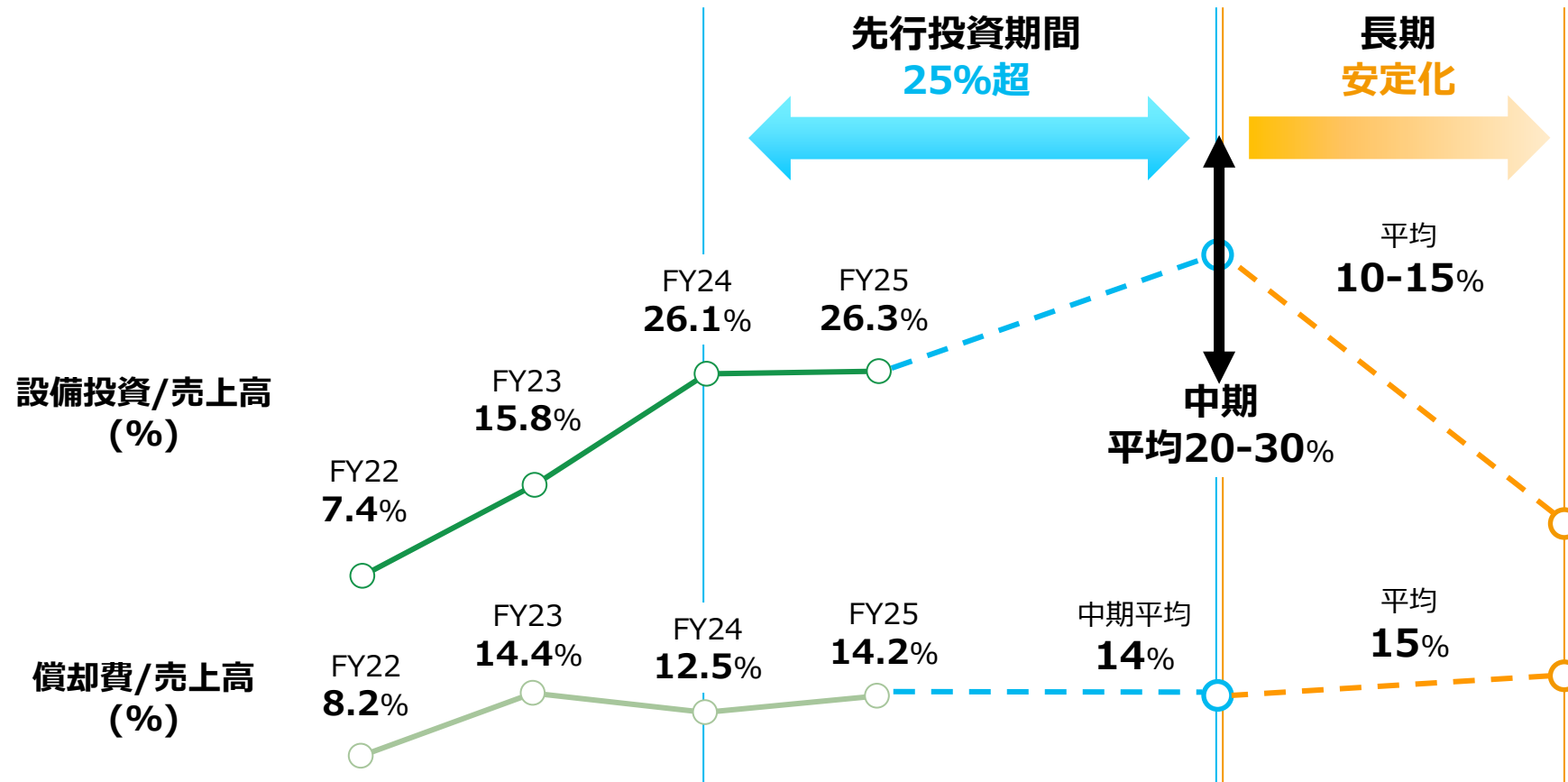
成長率：2.0%

# キャッシュアロケーション

- キャッシュイン：営業キャッシュフロー＋外部からの負債性調達（借入等）
- キャッシュアウト：株主還元（配当性向約30%）＋設備投資他



- 顧客との密な情報交換に基づいたフォトマスクの需要予測から、最適な投資戦略を立案
- 中期的には外販マスク需要の急拡大に伴い、複数の設備投資プロジェクトが並走するため、投資水準は高止まり
- 長期的には設備投資水準を一定程度に抑制を図る



# Appendix

---

# 決算補足資料 損益計算書 (Non-GAAP)

(百万円)	2025年3月期				2026年3月期				2025年3月期	2026年3月期
	第1四半期 4-6月	第2四半期 7-9月	第3四半期 10-12月	第4四半期 1-3月	第1四半期 4-6月	第2四半期 7-9月	第3四半期 10-12月	第4四半期 1-3月	通期	通期
売上収益	29,811	29,705	29,811	28,646	<b>30,076</b>	<b>31,695</b>	<b>34,462</b>	<b>33,341</b>	117,974	129,576
売上総利益	10,002	11,223	10,440	9,461	<b>9,811</b>	<b>11,088</b>	<b>10,749</b>	<b>11,619</b>	41,128	43,269
売上総利益率	33.6%	37.8%	35.0%	33.0%	32.6%	35.0%	31.2%	34.8%	34.9%	33.4%
調整後営業利益	6,773	8,218	7,129	6,348	<b>5,981</b>	<b>7,208</b>	<b>7,104</b>	<b>8,111</b>	28,469	28,407
調整後営業利益率	22.7%	27.7%	23.9%	22.2%	19.9%	22.7%	20.6%	24.3%	24.1%	21.9%
調整後四半期利益	4,503	8,693	5,596	5,809	5,549	7,005	6,705	6,295	24,601	25,556
調整後親会社の所有者に 帰属する四半期利益	4,503	8,693	5,596	5,809	<b>5,549</b>	<b>7,005</b>	<b>6,705</b>	<b>6,295</b>	24,601	25,556
EBITDA	10,580	11,678	11,134	10,555	10,167	11,821	12,570	12,007	43,947	46,567
EBITDAマージン	35.5%	39.3%	37.3%	36.8%	33.8%	37.3%	36.5%	36.0%	37.3%	35.9%
調整後EBITDA	10,626	11,744	11,198	10,648	10,275	12,009	12,645	12,513	44,217	47,444
調整後EBITDAマージン	35.7%	39.5%	37.6%	37.2%	34.2%	37.9%	36.7%	37.5%	37.5%	36.6%
為替レート (USD/JPY)	158.24	146.52	154.20	151.15	143.75	148.34	155.46	156.51	152.57	151.09

注：本資料には、調整後EBITDA、調整後EBITDAマージン、調整後営業利益、調整後当期純利益等、一定の当社のIFRS非準拠の財務指標が含まれている。当該財務情報は日本基準またはIFRSに基づき作成されたものではなく、監査を受けたものでもない。

# 決算補足資料 損益計算書 (IFRS)

(百万円)	2025年3月期				2026年3月期				2025年3月期	2026年3月期
	第1四半期 4-6月	第2四半期 7-9月	第3四半期 10-12月	第4四半期 1-3月	第1四半期 4-6月	第2四半期 7-9月	第3四半期 10-12月	第4四半期 1-3月	通期	通期
売上収益	29,811	29,705	29,811	28,646	30,076	31,695	34,462	33,341	117,974	129,576
売上総利益	10,002	11,223	10,440	9,461	9,811	11,088	10,749	11,619	41,128	43,269
売上総利益率	33.6%	37.8%	35.0%	33.0%	32.6%	35.0%	31.2%	34.8%	34.9%	33.4%
営業利益	6,726	8,152	7,065	6,255	5,875	7,020	7,028	7,605	28,199	27,530
営業利益率	22.6%	27.4%	23.7%	21.8%	19.5%	22.2%	20.4%	22.8%	23.9%	21.2%
四半期利益	4,470	4,258	5,551	▲4,334	5,475	6,874	6,652	5,944	9,945	24,947
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	4,470	4,258	5,551	▲4,334	5,475	6,874	6,652	5,944	9,945	24,947
減価償却費	3,725	3,405	3,936	4,172	4,167	4,666	5,389	4,263	15,240	18,486
減価償却費率	12.5%	11.5%	13.2%	14.6%	13.9%	14.7%	15.6%	12.8%	12.9%	14.3%
為替レート (USD/JPY)	158.24	146.52	154.20	151.15	143.75	148.34	155.46	156.51	152.57	151.09

# 決算補足資料 貸借対照表 (IFRS)

(百万円)	2025年3月末	2026年3月末
<b>資産合計</b>	167,752	<b>230,725</b>
現金及び現金同等物	27,715	51,552
営業債権及びその他の債権	27,668	32,610
その他の金融資産	5,221	12,520
棚卸資産	3,825	4,807
有形固定資産	87,919	109,074
持分法で会計処理されている投資	7,209	8,958
繰延税金資産	2,661	2,199
その他の資産	5,531	9,003
<b>負債合計</b>	51,370	<b>56,218</b>
営業債務及びその他の債務	19,105	19,065
借入金	799	1,460
その他の金融負債	9,324	14,138
未払法人所得税等	4,779	4,645
退職給付に係る負債	3,514	3,374
契約負債	6,380	4,884
その他の負債	7,466	8,648
<b>資本合計</b>	116,381	<b>174,507</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>167,752</b>	<b>230,725</b>

# 決算補足資料 キャッシュフロー計算書 (IFRS)

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期
	通期	通期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>26,227</b>	<b>36,061</b>
税引前利益	30,771	33,432
減価償却費及び償却費	15,240	18,486
運転資本の増減	▲6,913	▲4,082
その他営業活動	▲12,871	▲6,737
デリバティブ資産・負債の増減	—	▲5,037
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲32,885</b>	<b>▲35,150</b>
資産の取得・売却	▲29,361	▲33,236
貸付金による収入・支出	▲3,501	▲1,820
その他投資活動	▲21	▲93
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲28,536</b>	<b>19,862</b>
株式の発行による収入	—	19,992
自己株式の取得による支出	▲18,000	—
配当金の支払額	▲9,000	—
その他財務活動	▲1,536	▲130
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>▲6,658</b>	<b>911</b>



テクセンドフォトマスクは、外販フォトマスクのグローバルリーディングカンパニーとして、高成長の半導体バリューチェーンにおいて不可欠な製品を提供し、技術革新及び社会の持続的な進化を支えております

## #1

### 外販フォトマスク市場

外販フォトマスク市場にて9年連続トップシェア※1

## 50+

### 年の歴史

長年にわたるお客様との関係

## 10.9%

### 売上高成長率 (2025年3月期 - 2026年3月期)

継続的な需要増加に伴う高い成長率

## 36.6%

### 調整後EBITDAマージン (2026年3月期)

効率的かつ安定したビジネスモデルに伴う高い収益性

## 38.9%

### 外販フォトマスク市場でのシェア (売上高ベース) ※2

2020年以降、市場シェアを7.5%拡大※1

## 77%

### 単独または1stマスクベンダー※3

参加したベンダーセレクションにおいて、単独または1stマスクベンダーとして選定

## 85%

### ロジック比率 (2026年3月期 第4四半期)

ロジック比率の高さに伴う魅力的な成長プロフィール

## 9

### 製造拠点

全世界で1,944人の従業員  
(2026年3月末時点)

注:

※1: 売上高ベース、CY2016-CY2024、SEMI「2024 PHOTOMASK CHARACTERIZATION STUDY」

※2: SEMI「2024 PHOTOMASK CHARACTERIZATION STUDY」。38.9%はCY2024の売上高ベースのシェア

※3: 会社情報。TPCが参加したPM顧客による40nm未満(2024年12月13日まで)のベンダーセレクションのうち、TPCが単独または1stマスクベンダーとして選定された割合(1stマスクベンダーのPMは、当該顧客の後続ベンダーにおけるベンチマークとして使用される)

本資料は、テクセンドフォトマスク株式会社（以下「当社」といいます。）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、米国、日本国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。米国、日本国又はそれ以外の一切の法域において、適用法令に基づく登録若しくは届出又はこれらの免除を受けずに、当社の有価証券の募集又は販売を行うことはできません。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる情報の真実性、正確性及び完全性に依拠し、前提としていますが、その真実性、正確性及び完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。本資料には、当社に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」というような表現や将来の事業活動、業績、出来事又は状況を説明するその他の類似した表現が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基に、本資料の作成時点における当社の経営陣の判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提（仮定）の下になされています。そのため、これらの将来に関する記述又は前提（仮定）は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大幅に異なる可能性があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。なお、本資料に記載された情報は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

当社の現在の決算期は3月末であります。また、本資料に含まれる全ての財務情報は、別途記載のない限り、連結ベースであり、国際会計基準（以下「IFRS」といいます。）に準拠しています。

本資料には、調整後EBITDA、調整後EBITDAマージン、調整後営業利益、調整後当期純利益等、一定の当社のIFRS非準拠の財務指標が含まれています。当該財務情報は日本基準またはIFRSに基づき作成されたものではなく、監査を受けたものでもありません。

本資料は、当社の企業情報等のご案内のみを目的として提供しています。本資料の複製は禁じられており、いかなる目的において又は方法によっても、他者に転送又は再配布してはなりません。本資料を提供するにあたり、当社は、追加情報へのアクセス手段、本資料の情報の更新、本資料に記載されている情報が不正確であることが明らかとなった場合の修正につき、一切責任を負いません。

当社は本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報又は第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。



<https://www.photomask.com>